

# 各地からの たより

各地の取り組みを  
ご紹介します

- 森林整備課
- 青森事務所

## コンテナ苗を活用した低コスト造林の推進に向けた検討会を開催

### 森林整備課

東北森林管理局は、林業の再生、成長産業化に向けた林業の低コスト化を推進する上で必要なコンテナ苗の普及・活用を図るため、2月25日に秋田市「イヤタカ」において「コンテナ苗を活用した低コスト造林の推進に向けた検討会」を開催しました。検討会には、管内の各県（福島県を除く東北5県）、研究機関、森林組合連合会、苗木生産者、林業事業者、東北森林管理局・署等から200名を超える林業関係者が参加しました。

検討会では、日本森林技術協会主任研究員の中村松三氏による「コンテナ苗の育苗技術と効率的な活用について」をテーマとした講演のほか、熊本県の協栄木材㈱から「九州局における一貫作業システムとコンテナ苗の活用事例」、秋田県の北日本索道㈱から「東北局における一貫作業システムの実証事例」の発表が行われ、その後の意見交換では参加者から、地拵の省略やコンテナ苗の特徴、植え方など具体的な質問が

多くあり、コンテナ苗や低コスト化への関心がうかがえました。



検討会会場の様子

また、検討会后、参加者から「これほどの関係者一同に集まり研究者の考えや先進事例を共有することは、今後低コスト化を進める上で大きな前進」という声も聞かれました。

## 青森ヒバに関する情報発信について

### 青森事務所

昨年、青森事務所に一般の方から、「青森ヒバはどのような木で青森県の何処に生育していますか」といった問い合わせがありました。その答えは、「青森ヒバは腐りにくく、シロアリにも強く、主に津軽半島と下北半島に生育しています」といった簡単な答えでした。

確かに間違いでは無いのかもしれませんが、しかし、一般の方にしてみれば、そんな簡単な回答では無く、もっと具体的な回答を望んでいたのかもしれない。

そのような簡単な答えしか出来ない私たちは、青森ヒバについて実は何も知らないんじゃないか、もっと青森ヒバについて勉強し、わかりやすい情報発信するためにホームページに青森ヒバに関するコーナーを作ることにしました。

森林管理署では、各署のイベントや入札



意見交換

情報を各署のホームページで情報発信していますが、青森事務所では、森林管理署と違い、事務所独自のイベントも無ければ、入札を行うこともないことから、青森事務所のホームページ作成以来、ほとんど更新されることがありませんでした。

作成した青森ヒバに関するコーナーでは、青森ヒバの分布や由来、なぜシロアリに強いのかといった、冒頭の問い合わせにも対応できる内容としております。

また、青森ヒバを使った建築物等を紹介するコーナーは、まだ、数は少ないものの、神社や駅舎、学校といった地域に密着した建築物を紹介しており、今後も取材を続けて掲載していくこととしております。

さらに、青森ヒバの入札情報のコーナーでは、入札物件の目玉商品を写真入りで紹介し、入札後はいくつで入札されたかを発表しております。この入札前に写真を紹介する取組は、委託販売先とも連携した取組で入札参加者に加え、素材生産業者からも、自分たちの仕事の成果が見えると好評を得ております。

一般の方からの問い合わせへの回答に端を発した当事務所のホームページのリニューアルは、今後も青森ヒバを使った建築物のコーナーの充実や入札情報の発信を続けていきますので、青森ヒバを使った建築物に関する情報をどんどんお寄せ頂きたいと思っております。

なお、東北森林管理局ホームページのトップ（左側）に「青森ヒバに関する情報（青森事務所）」というバナーを作成しておりますので、たまには覗いてみてください。  
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/aomorizimuso/>